

教科名	福祉	科目名	生活支援技術（2年次）【4単位】（3年次）【3単位】	
授業形態	講義形式+実習(介護技術など)			
選んでほしい生徒	生活福祉系列を選択した人（2年次生、3年次生）			
科目の目標	基礎的な介護の知識を知り、技術が出来るようになる。様々な介護の場面において、適切で安全な介護が出来るようになる。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な介護の知識と技術を身に付ける。 2 様々な介護の場面に対応できるための知識と基本的介護技術を応用する力を養う。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	2年次 【1学期】 I 生活支援の理解 II 自立に向けた生活支援技術 【2学期】 II 自立に向けた生活支援技術 【3学期】 III 終末期・緊急時の介護		・介護の知識を学習し、ベッドメイキング、車椅子への移乗、食事、排泄、入浴の介助などを練習します。 ・レクリエーション、救急法の先生に来ていただいでての授業もあります。 ・家庭科の内容を深めた生活支援技術も勉強します。	
	3年次（医療的ケアの講義と演習を含む） 【1学期】 IV 認知症のある人に応じた生活支援技術 【2学期】 V 障害に応じた生活支援技術 【3学期】 生活支援技術復習		・認知症、視覚障害、聴覚言語障害、運動機能障害、内部障害、知的障害、精神障害などに応じた介護の技術を学びます。 ・医療的ケアについて講義(50時間)と演習を行います。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	・自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上を目指す態度を身に付けている。	・介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現する能力を身に付けている。	・基礎的な介護の知識のもと、利用者の生活状況を的確に把握し自立と安全を重視した活動、医療的ケアを実践していく能力を身に付けている。	・基礎的な介護のあり方、介護実践の根拠となる人体の構造や機能について理解し知識として身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、実技テスト、出席状況、授業態度、提出物も課題等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習が多いので、実技を身に付けるために放課後などに練習をすると上手になります。 2 生活支援について学んでいくので、家での手伝いをする事や障害者との交流やボランティア活動なども大切です。 			
教材費	新・介護福祉士養成講座 6～8（各2, 200円税別） メヂカルフレンド社 医療的ケア(2, 800円税別) 実習服（約10, 000円）			
その他	介護福祉士国家試験の受験資格、介護員養成研修(初任者研修)修了認定に必要な科目です。			